

俊外數名ハ鑛業所ニ對シ賃金値上其他ノ待遇改善ニ關スル左ノ  
嘆願書ヲ提出シタリ

ニ嘆願書

一採炭夫、支柱夫	最低賃金	二圓七十錢
一堀進夫、仕繰夫	同	二圓五十錢
一日役夫	同	二圓二十錢

但シ入坑手當トシテ採炭夫一方ニ付金三十錢其他ノ者金二十錢  
支拂ハレタシ

一現行精勤賞與ヲ撤廢シ稼働所得金ノ一割五分ヲ加給セラレタ  
シ

一公休日ノ代休現行一週間ヲ一ヶ月間有效ナラシムルコト

一勞働時間十時間以上ニ亘ルトキハ一時間ニツキ一分ノ割ヲ以  
テ賃金支給セラレタシ

一本件ニツキ犠牲者ヲ出ササルコト

ニ爭議參加人員

(2) 同所第一坑所屬採炭夫仕繰夫ノ坑内從業員總數ハ約六百五十名

ニシテ爭議參加人員ハ詳カナラザルモ爭議團本部ニ籠城シタル  
者ハ約二百五十名乃至三百名内外ナリ

ニ主ナル指導者及參加勞働組合

當初首謀者ト目サル、ハ採炭夫松田重俊、北岡伊平其他數名ナ  
リシガ罷業開始後日本石炭坑夫組合ノ參加ニ關シ意見對立シ幹  
部側分裂更迭ヲ見ルニ至リシガ同坑夫組合ノ全面的支援ノモト  
ニ爭議團長以下ノ幹部ヲ選定シ數班ニ分チ鑛業所側ノ切崩シニ  
備フル警備隊ノ編成等統制アル組織ノモトニ爾後同坑夫組合幹  
部ニ於テ専ラ爭議團ノ指導ニ當レリ

ニ經過

(3) 五月三十日坑内從業員代表ヨリ賃金値上其他ニ關スル嘆願書ノ  
提出ニ對シ鑛業所ニ於テハ直接之ヲ受理スル筋合ニアラズトシ  
勞資ノ協調機關タル同所信和會委員會ニ提案審議シ同委員會ノ  
議ニヨリ提出スベシト之ヲ右代表者ニ返却シ六月一日開催セラ  
ルベキ同委員會ニ於テハ同問題ノ重大性ニ鑑ミ之ガ審議ヲ拒絶  
シタリ一面從業員ハ約三百名ノ賛成調印ヲ取纏ムル等形勢漸次